

フラメンコとアヴァンギャルド、 過去と現在

演歌が「日本人のこころ」だとしたら、フラメンコは「スペイン人のこころ」と言えるでしょうか？実はこうした「民族のこころ」としての音楽形式という考え方は、いずれも自然に成立したものではありません。フラメンコの歴史的起源と発展は、演歌のそれよりもはるかに複雑で謎に満ちていると言えるでしょう。伝統的なフラメンコがどういうものか、私たちの多くは紋切型のイメージを持っているかもしれませんが、現代的なフラメンコ、その前衛的な試みについてはほとんど知らないのではないでしょうか。この講座では、スペインにおけるフラメンコ研究の第一人者をお招きして、フラメンコの過去と現在について語っていただきます。



講師

ミゲル・アルバレス・フェルナンデス

現代音楽作曲家、アーティスト、ラジオ番組パーソナリティ

スペイン出身の現代音楽作曲家、アーティスト、ラジオ番組のパーソナリティ。現在、スペイン国立ラジオ放送局で音楽番組「アルス・ソノラ」を担当。その楽曲はスペイン国立ソフィア芸術センターをはじめ、スペイン内外のコンサートホールで発表されている。学術面では、オビエド大学で芸術史と音楽学の博士号を取得し、世界各国の大学やアートセンターにおいて、今日の文化論や芸術表現論についての講義をおこなってきた。2007年よりスペインの伝統的芸術と現代文化の関係性についてのリサーチを開始し、第40回バルト海音楽学会議／リトアニアでは「民間伝承とアヴァンギャルド-スペインの現代音楽におけるグローバリズムとローカリズムの間に生じる亀裂」と題したレクチャーを発表している。

開催日時： 2018年11月8日（木）17：00～19：00（開場は16：30）

場所： 京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室（京都市左京区吉田下阿達町46）

<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/about/access.htm>

※17時以降は正面玄関が閉まりますので、川端通南側裏口（駐車場手前）をご利用ください。

会場の都合上、18時までにご来場ください。遅れる場合は、事前にご連絡いただくようお願いいたします。

対象： どなたでもご参加いただけます

参加料： 無料

<お申込方法>

E-mailでお申込みください。

件名に「フラメンコとアヴァンギャルド 申込み」と明記し、必要事項を記入の上、ご送付ください。 必要事項：

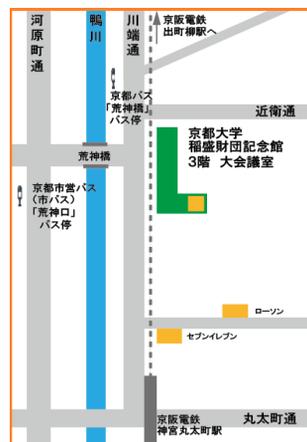
①氏名（ふりがな）②所属先（学生の場合、学部・学年）③連絡先メールアドレス

申込先/問合せ先： 京都大学こころの未来研究センター リエゾンオフィス

kokoro-sem@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

主催：京都大学こころの未来研究センター

助成：駐日スペイン大使館



京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER • KYOTO UNIVERSITY
こころの未来研究センター

